

平成22年度 人づくり戦略チームの事業概要

「あおもりを愛する人づくり戦略(平成19年9月策定)」の推進

あおもりの未来をつくる人財の育成

あおもりの今をつくる人財の育成

取組
戦略
1

「生きること・働くことについて考える学習活動」を効果的に展開する仕組みづくり

地域キャリア教育プロデューサー育成事業 1P

キャリア教育ネットワーク強化事業 2P

キャリア教育ポイントカード事業 3P

取組
戦略
2

産・学・官・金融をはじめとした関係主体の連携の仕組みづくり

「あおもり立志挑戦塾」開催事業 4P

あおもりリーダーネットワーク形成促進事業 5P

取組
戦略
3

人財育成を総合的に推進するための拠点づくり

人財育成拠点機能検討事業 6P

取組
戦略
4

人財育成を支える優れた人財の発掘と誘致

マンガで伝えるあおもりの人財事業 7P

「日本の次世代リーダー養成塾」派遣事業 8P

高校生のためのキャリア教育応援マガジン
編集・発行・配付事業 9P

推進体制

青森県
人づくり
戦略推進
会議人づくり
戦略庁内
連絡会議

地域キャリア教育プロデューサー育成事業(継続)

現状と課題

地域におけるキャリア教育の効果的な展開に向け、
 ○地域と学校の架け橋となる「地域キャリア教育プロデューサー」の育成
 ○キャリア教育の普及啓発イベントの開催

- ・育成講座(基礎編)の実施
29名受講
- ・ユメココ・フェスタの実施
H21.10.10開催(青森市)
約300名参加
- ・ユメココ人の登録
41名(H22.8.23現在)

- プロデューサー相互の共通理解とネットワークによる情報の共有
- 教育委員会と連携を密にした活動の実施が必要

- 地域キャリア教育プロデューサーの役割
- ・情報収集ネットワークの構築
 - ・関係者間の調整
 - ・普及啓発
- 地域キャリア教育プロデューサーの活動
- ・地域の実情にあったキャリア教育プログラムの企画立案、実践
 - ・関係機関相互の連携促進
 - ・情報の収集・発信等のコーディネート

事業内容

地域キャリア教育プロデューサー育成講座(発展編)の開催

学校と地域の架け橋として、プログラムの企画運営や関係者間の調整等を行う「地域キャリア教育プロデューサー」を育成する講座を、昨年度の「基礎編」を踏まえ、「発展編」として開催する。

【対象】基礎編の受講生 18名
 【回数等】3回(各1日間:7月、8月、2月)

地域版ユメココフェスタの開催

子どもたちが「生きること・働くこと」について考えるきっかけづくり、さらにはキャリア教育の推進に向けた意識啓発などを目的として、県内4地域において実施する。

【場所】県内4地域(東青/下北/中南・西北/三八・上北)
 【時期】10月~11月
 【プログラム】様々な職業の方が、自分の仕事への思いや苦勞などを語る「ユメココと〜く」ほか

ユメココ人(びと)の派遣

仕事に対する考え方や、その職業についたきっかけ、これからの夢や目標について、子どもたちの前で語ってくれる人を「ユメココ人」として県に登録し、各学校等の求めに応じて派遣する。

めざす姿

- 地域キャリア教育プロデューサーを核とした
- 「顔の見えるネットワーク」の形成
 - 企業による教育支援活動の促進

チャレンジ精神あふれる人財が着実に育成されている状態

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~
			発展編①	発展編②	実践活動					活動報告書の作成		
						ユメココ・フェスタ				発展編③		
登録	ユメココ人の派遣											

キャリア教育ネットワーク強化事業(継続)

現状

「あおりキャリア教育プラットフォーム」の運営を、プラットフォーム加盟機関に委託。

- 加盟機関数の増 (100機関→111機関)
- 会報「ユメココ通信」の発行(5回)

「あおりキャリア教育プラットフォーム」

キャリア教育の推進を図るため、教育界と産業界、地域の連携した仕組みづくりに向けて平成19年11月に設置された、キャリア教育関係機関等による全県レベルのネットワーク。

【加盟機関数】111機関
※H22.3.31現在

事業内容

地域ぐるみのキャリア教育のネットワークの強化を図るため設立された「あおりキャリア教育プラットフォーム」の運営を外部機関に業務委託する。

【プラットフォームの活動内容】

- ①加盟機関の募集
プラットフォーム加盟機関・教育委員会等への呼びかけ、チラシの配布 など
- ②キャリア教育に関する情報の収集・集約・発信
会報「ユメココ通信」の編集・発行、ホームページの作成・更新 など
- ③キャリア教育の取組に関するコーディネート
加盟機関相互のニーズ・シーズの共有化とマッチング

「人財の育成」と「ノウハウの移転」

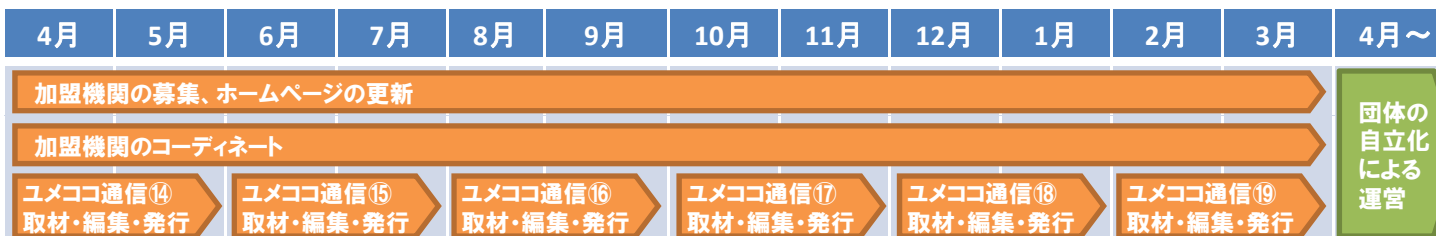
プラットフォームの育成と自立化

めざす姿

- ◇加盟機関数の増
- ◇情報の共有化・緊密化
- ◇持続可能な運営形態の確立

↓
ネットワークの強化

↓
チャレンジ精神あふれる
人財が着実に育成され
ている状態



キャリア教育ポイントカード事業(新規)

[予算額:1,727千円]

現状と課題

キャリア教育に関する学校現場での需要は高い



- 県内中学校での年5日以上職場体験実施率は「3.8%」
- 6割強の企業が「現在の企業には支援する体力がない」と考えている

協力店

児童・生徒の見学・体験の受け入れに協力して下さる事業所等

協賛店

児童・生徒の見学・体験の受け入れに加え、ポイントと交換する景品等を提供して下さる事業所等

※「協力店」及び「協賛店」は、
・県ホームページへの掲載
・ステッカーの配布を行う。

事業内容

県内の児童・生徒が休日等に個別申込み可能な職場見学・体験先のリストアップ調査を実施し、そのリストのメニュー化・ポイント化を行うとともに、自主的な体験を促すためのメリットシステム(ポイントと県有施設割引券等との交換)を構築する。

体験メニューページの制作

県内の職場見学、職業体験、自然体験先を調査・リストアップし、それらを地域・ジャンル・料金等により閲覧・検索が可能なホームページを制作する。

モデル事業の実施

エリア・業種を絞ったモデル事業を実施し、課題等を抽出・検討する。

協力店・協賛店の募集

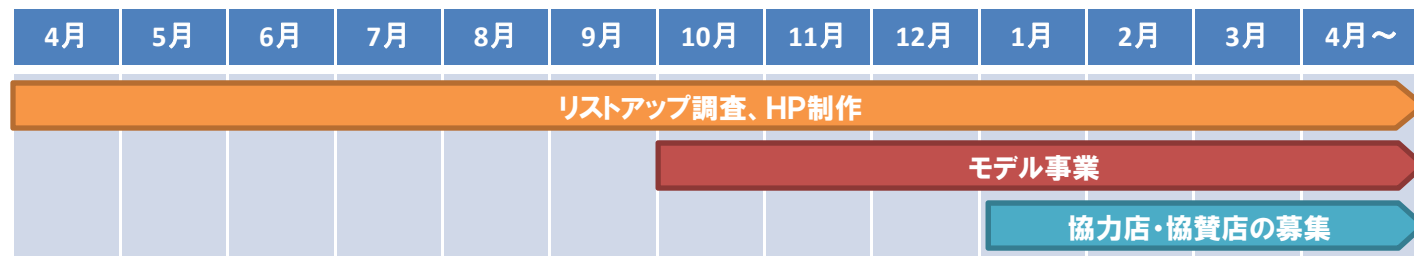
本事業の「協力店」「協賛店」の募集を行う。

めざす姿

- ◇ 児童・生徒へのキャリア教育の機会拡大
- ◇ 県有施設の利用促進



学校・家庭・企業をつなぐ「地域ぐるみのキャリア教育」を促進



—あおもりリーダー育成プラットフォーム形成促進事業—

[予算額:4,210千円]

「あおもり立志挑戦塾」開催事業(新規)

現状と課題

- 地域経済や地域づくりをけん引するチャレンジ精神あふれる人材の育成に向け、「あおもり立志挑戦塾」を実施してきた。
 - リーダーとなる人材を持続的に育成していくための仕組みづくりを継続的に進めていく必要がある。
- ※平成20・21年度は県直営で実施

事業内容

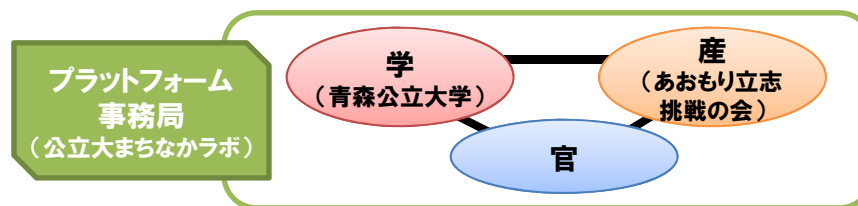
- リーダーの育成と人材同士のネットワークの運営を行う産学官金の連携による仕組みとして、青森公立大学と「あおもり立志挑戦の会」の協力を得て「あおもりリーダー育成プラットフォーム」を設立する。
 - ※「あおもり立志挑戦の会」
「あおもり立志挑戦塾」の卒塾生を中心に設立された任意団体。
【設立】平成21年2月13日
【会員数】52名(H22.4.1現在)
【目的】情報交換、講習会、調査研究等を通じて、ふるさと青森の知識向上と故郷を愛する心の醸成を図るとともに、青森経済や地域づくりに寄与する。
- 「あおもり立志挑戦塾」を、これまでの開催ノウハウの移転、仕組みづくりと併行して実施する。
- 「あおもり立志挑戦塾」実施の枠組み
(22・23年度はプラットフォーム事務局が主体となり運営)

めざす姿

- 産学官金による、県内の各分野・各地域のリーダーとなる人材が持続的に輩出される仕組みができてきている。
- 各分野・各地域のリーダーのネットワークができ、活発に活動している。
- ネットワークを基点・契機とした、生業づくりや起業・創業、経営革新等の取組が進められている。

「あおもり立志挑戦塾」概要

塾長：野田一夫
 定員：30名
 日程：約1か月に1回
 5月～10月の全6回
 土・日曜日1泊2日
 場所：県内各地
 内容：講師講話、グループディスカッション、発表、塾長コメント
 修了生：50名
 (平成20・21年度)



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
募集・面接・塾生決定		塾の開催						成果報告会		23年度準備等		

あおもりリーダーネットワーク形成促進事業(新規)

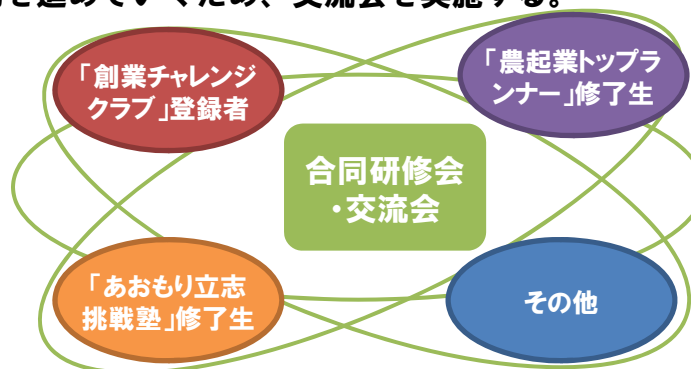
現状と課題

○本県にとって優位な情報を有する首都圏の人財と本県との人財のネットワークの構築に努めてきた。

○蓄積した情報の活用を図りながら効果的にネットワークを運営していく仕組みづくりを継続的に進めていく必要がある。

事業内容

○「あおもり立志挑戦塾」修了生と県が各分野でリーダーやチャレンジャーの育成を目的として実施してきた事業を修了した人財のネットワーク化の促進を図るとともに、修了生の挑戦意欲の再確認と強化を進めていくため、交流会を実施する。



【交流会】 平日夕方または土曜日開催
講師話題提供、質疑応答、意見交換、懇親会
※懇親会の経費は参加者負担

※第1回概要 日時：平成22年9月10日（金）17時00分～
場所：ラ・プラス青い森
内容：講師講話、意見交換、懇談会
講師：(有)北のグルメ都市「八戸屋台村みろく横丁」
代表取締役 中居雅博

めざす姿

○各分野・各地域のリーダーのネットワークができ、活発に活動している。

○ネットワークを基点・契機とした、生業づくりや起業・創業、経営革新等の取組が進められている。

対象

「あおもり立志挑戦塾」修了生
「創業チャレンジクラブ」登録者
「農起業トッパー」修了生
など

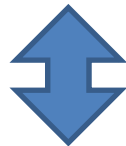
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
					交流会			交流会				

人財育成拠点機能検討事業(継続)

現状と課題

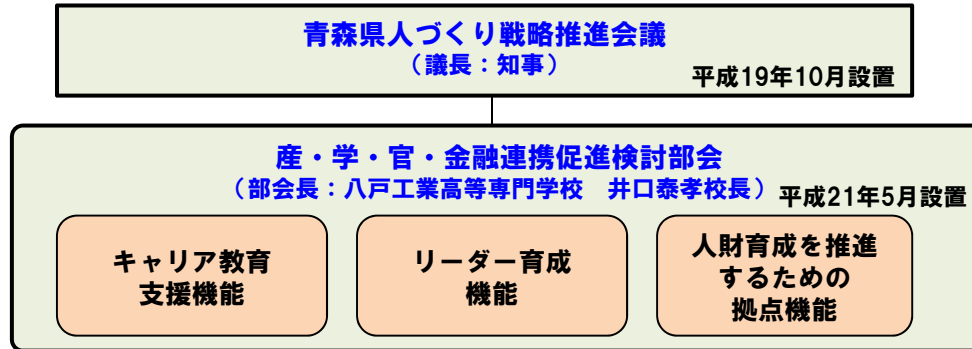
＜あおもりの未来＞
キャリア教育の推進(プログラム集の作成、プロデューサーの育成等)

＜あおもりの今＞
「あおり立志挑戦塾」の運営



●キャリア教育の推進、各分野のリーダー育成に中長期的な視点で持続的に取り組むための、産・学・官・金融の連携の仕組みづくりが必要

事業内容



＜平成21年度＞

部会において、上記の3つの機能について、産・学・官・金融の連携の仕組みづくりに向けた課題や今後の方向性を検討(5回開催)

◇11月に「地域経済、地域づくりをけん引する人財の育成機能」に関する中間取りまとめ
⇒H22当初予算で、「あおりリーダー育成プラットフォーム形成促進事業」を予算化



＜平成22年度＞

- ・3つの機能のあり方、今後の方向性、役割分担等について引き続き検討
- ↓
- ・6月 部会報告取りまとめ
- ↓
- ・青森県人づくり戦略推進会議へ報告、了承
- ↓
- ・部会報告の実現に向けて、可能なものから順次着手していくため、関係機関との調整や事業の企画立案

めざす姿

◇産・学・官・金融の連携による地域ぐるみの人財育成の仕組みの構築



チャレンジ精神あふれる人財が着実に育成されている状態

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
部会における検討、部会報告取りまとめ												
					●							
				人づくり戦略推進会議				関係機関との調整・事業の企画立案				

「日本の次世代リーダー養成塾」派遣事業(新規)

現状と課題

○地域の魅力についての学習機会を充実させていく必要がある。

○子どもや若者が目標となる人物像を描けるよう、様々な分野の第一線で活躍する人財の発掘、活用に取り組む必要がある。

事業内容

- 全国の高校生同士が切磋琢磨しあい、将来のリーダーに成長できる人財の育成を目指す「日本の次世代リーダー養成塾」に参画県として加わり、参画県推薦枠10名を派遣し、挑戦意欲のある高校生への機会提供を通して、人財育成を図る。
- 参加報告レポートの作成・配布、参加報告会の開催により事業内容・成果の普及を進める。

<スケジュール>

- 募集期間(4月7日から5月7日)
- 応募書類提出(5月7日)
- 第1次審査結果通知(書類選考)(5月14日)
- 第2次審査(面接)(5月22日)
- 塾長へ推薦→塾長から決定通知→本人通知(6月中旬)
- 参加費(10万円※)納入(6月25日)
※2週間分の食費・宿泊費相当
- 事前研修(7月4日)
- 塾参加(7月28日～8月10日)
※青森空港から開催地までの旅費は、塾から助成されます。
- レポート作成・配付(9月下旬)
- 参加報告会(12月)・・・「あおり立志挑戦塾」成果報告会と合同開催

めざす姿

○子どもたちが、自らが目標とする人財像を持っている。

○子どもたちや若者が、県内のみならず全国にいる、様々な分野の第一線で活躍する人財を、自らの力で発掘、活用することができる仕組みができている。

第7回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

- 主催者
日本の次世代リーダー養成塾
塾長：御手洗富士夫
(社)日本経済団体連合会会長
- 開催日程
7月28(水)～8月10日(火)
- 開催・宿泊施設
グローバルアリーナ(福岡県)
波戸岬少年自然の家(佐賀県)
- 塾生
対象：高校生(1年生～3年生)
人数：180名(予定)

※ 参画県(北海道・青森・岩手・神奈川・静岡・岐阜・和歌山・福岡・佐賀・大分県)による推薦枠120名程度、全国からの一般公募枠60名程度(2010年4月7日現在)



